

安全データシート (SDS)

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名 弱酸性次亜塩素酸パウダー 「ジアンシー」

会社情報

会社名 株式会社三喜
担当部署 TACT事業部
住所 〒130-0021 東京都墨田区緑 2-12-3
電話番号 03-5669-0015
Fax 番号
電子メールアドレス
推奨用途 消臭、除菌用

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

該当しない

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分2
特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分2
区分3 <気道刺激性>

環境に対する有害性

水生環境有害性（急性） 区分2
水生環境有害性（長期間） 区分2

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

警告
皮膚刺激
臓器の障害のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

[安全対策]	<p>粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。</p> <p>取扱い後は手をよく洗うこと。</p> <p>この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。</p> <p>屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。</p> <p>保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。</p> <p>環境への放出を避けること。</p>
[応急処置]	<p>吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。</p> <p>汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は、洗濯をすること。</p> <p>皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。</p> <p>ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。</p> <p>気分が悪いときは医師に連絡すること。</p> <p>漏出物を回収すること。</p>
[保管（貯蔵）]	<p>換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。</p>
[廃棄]	<p>内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。</p>

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲 (wt%)
無機塩	非公開	非公開	非公開
ジクロロイソシアヌール酸 ナトリウム	2893-78-9	(5)-1043	非公開

4 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合	<p>空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。</p>
皮膚に付着した場合	<p>汚染された衣類は脱ぐこと。</p> <p>多量の水で洗うこと。</p> <p>症状が続く場合には、医師に連絡すること。</p>
眼に入った場合	<p>水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も</p>

飲み込んだ場合

洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

水で口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

予想される急性症状

皮膚刺激

遅発性症状の最も重要な兆候症状

情報なし

応急措置をする者の保護

救助者は、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5 火災時の措置

適切な消火剤

大量の水、乾燥砂等。

使ってはならない消火剤

粉末消火剤、泡消火剤

特有の危険有害性

火災により刺激性、腐食性、毒性のガスを生成するおそれがある。

熱により容器が爆発するおそれがある。

湿った製品は、爆発性の三塩化窒素、塩素ガス等の有害なガスが発生するため、製品に水がかからないように注意する。

製品が湿った場合は、決して密閉状態にせず、多量の水に溶解しチオ硫酸ナトリウム等で除害後廃棄する。

特有の消火方法

危険でなければ火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。

危険でなければ容器を安全な場所に移す。

消火のための放水等により、製品が河川や下水に流出しないように適切な措置を行う。

消火活動は風上から行う。

容器周辺が火災のときは、容器を安全な場所に移動する。

消火を行う者の保護

適切な全身用保護衣及び空気式呼吸器を着用し、風上より消火を行う。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具（「8 ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に関する注意事項

側溝、下水、河川等公共水域への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

多量の場合は、不燃シート等で覆って飛散防止をはかる。

清潔なシャベル等を用いて、清潔な乾燥した空容器にできる限り回収する。

湿った製品は、絶対に元の容器に入れない。多量の水に溶解しチオ硫酸ナトリウム等で除害後廃棄する。

ごく少量の回収不能分は多量の水で洗い流す。

二次災害の防止策

周辺の発火源、可燃物を速やかに取除く。

火花を発生しない安全な用具を使用する。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流出を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取扱いは換気の良い場所で行う。局所排気設備等により作業環境を改善する。

周辺での高温物、火気の使用を避ける。

粉塵が飛散しないように注意する。

取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備等を設置することが望ましい。

安全取扱注意事項

取扱い後はよく手を洗うこと。

取扱いは、換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散しないよう注意する。

この製品を使用するときに、飲食、喫煙をしない。

衛生対策

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

保管

安全な保管条件

容器を密閉し、水、湿気、直射日光を避け、冷暗所に保管する。

火気厳禁、衝撃注意、水漏注意、高度さらし粉と隔離する。

安全な容器包装材料

製品に使用している容器に準ずる。

湿った製品は爆発性の三塩化窒素及び塩素ガス等の有害なガスが発生するため、適切な材質の容器を使用する。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）

設定されていない

設備対策

室内での使用の場合は、局所排気設備等により作業環境を改善する。
取り扱いの場所の近くに、安全シャワー、手洗い、洗眼設備等を設置することが望ましい。

保護具

呼吸用保護具	防塵マスク着用。
手の保護具	不浸透性保護手袋着用。
眼の保護具	保護眼鏡（ゴーグル型）着用。
皮膚及び身体の保護具	長袖保護衣を着用。

9 物理的及び化学的性質

外観（物理化学的状態、形状、色など）	白色の結晶又は顆粒
臭い	塩素臭
臭いの閾値	情報なし
pH	5.0~7.0（1%水溶液）
融点・凝固点	情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	情報なし
蒸発速度	情報なし
燃焼性	情報なし
燃焼範囲の上限・下限	情報なし
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
比重	情報なし
溶解度	水に可溶。
n-オクタノール／水分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
粘度	情報なし

10 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	乾燥状態では安定。 湿潤状態や水に溶解すると、次亜塩素酸を発生する。
危険有害反応可能性	還元性物質との接触や、可燃性との混合により、火災や爆発の危険性がある。 加水分解して次亜塩素酸を発生する。
避けるべき条件	高温多湿、直射日光、加熱。
混触危険物質	可燃物、還元性物質、酸、少量の水、窒素化合物、他の

危険有害な分解生成物 種類の塩素剤（高度さらし粉）等
塩化水素、塩素、窒素酸化物、三塩化窒素、一酸化炭素等。

11 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

成分の環境影響情報

無機塩	
水生環境急性有害性	情報なし
水生環境慢性有害性	情報なし
生態毒性	魚毒性：ファットヘッドミノール LC ₅₀ 880mg/L/96hr ブルーギル LC ₅₀ 2010mg/L/96hr 急性毒性：オオミジンコ LC ₅₀ 660mg/L/48hr ニセネコミジンコ LC ₅₀ 630 mg/L/48hr オオミジンコ LC ₅₀ 177mg/L/48hr ササノハ珪藻 ErC ₅₀ 1337mg/L/120hr 慢性毒性：オオミジンコ EC ₅₀ 130mg/L/21d オオミジンコ EC ₁₆ 101mg/L/21d
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

ジクロロイソシアヌール酸ナトリウム

水生環境急性有害性	情報なし
水生環境慢性有害性	情報なし
残留性・分解性	急速分解性なし
生態毒性	甲殻類 EC ₅₀ 0.11mg/L/48hr/オオミジンコ
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

12 廃棄上の注意

残余廃棄物

高度さらし粉等と一緒に捨ててはならない。
廃棄する時は、大量の水に溶解した後、チオ硫酸ナトリウム等で処理し廃棄する。
塩素ガス等が発生するので、焼却処理してはならない。

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

13 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送（ADR/RID の規定に従う）

海上輸送（IMO の規定に従う）

航空輸送（ICAO/IATA の規定に従う）

国内規制

陸上規制情報 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上規制情報 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空規制情報 航空法に定められている運送方法に従う。

特別の安全対策：

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
高度さらし粉との混載は避ける。（事故発生時に混合される危険性があるため。）

14 適用法令

化学物質管理促進法（P R T R 法） 非該当

毒物及び劇物取締法 非該当

労働安全衛生法 非該当

消防法 非該当

15 その他の情報

参考文献

NITE GHS 分類結果一覧

日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告

ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2012) TLVs and BEIs.

中央労働災害防止協会（職場のあんぜんサイト）

その他関連する安全データシート

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253:2012 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実

作成日： 2020年5月1日

改訂日： 2020年5月18日

施の上、お取扱い願います。